

名物精進うどんに法中（ほちゅう）さんも舌鼓。



「お精進なのになんでこんなに美味しいの？」と聞くと、「そりゃあご法義がしいみ込んでるじゃけん」と口を揃えて皆が答え



法中さんだけには、ケーキが出されます。ケーキといえどもお精進だけに、ご報謝下さる小田原倅江さんは、毎年苦心されるのです。ご苦労の甲斐あって、言われなければまず誰もお精進とは分からない匠の技（ケーキは匠と言わないのかな？）が疑らされています。今年はグランベリーケーキ。



昨年は雨でしたが、今年は晴れ。おかげでたくさんの方がお店に来てくださいました。本堂にお参りして、お話を聞いてくださるのもっとうれしんですけど…。



蔵本通支坊お仏花を生けてくださる古江和子さん。

（写真右⇒）長ノ木本坊本堂修復のため、店を広げる場所もないのですが、「どこだってできますわよ」と皆さん。庫裏（くり・住居部分）横、竹やぶの前にたくましく出店。



本堂修復中で何かと不自由でしたが、知恵を絞って美味しいお齋を作ってくださいましたみなさん。これも今年で最後ですね。



長ノ木本坊仏教賛歌エレクトーン伴奏のご報謝（向井茉莉子さん）